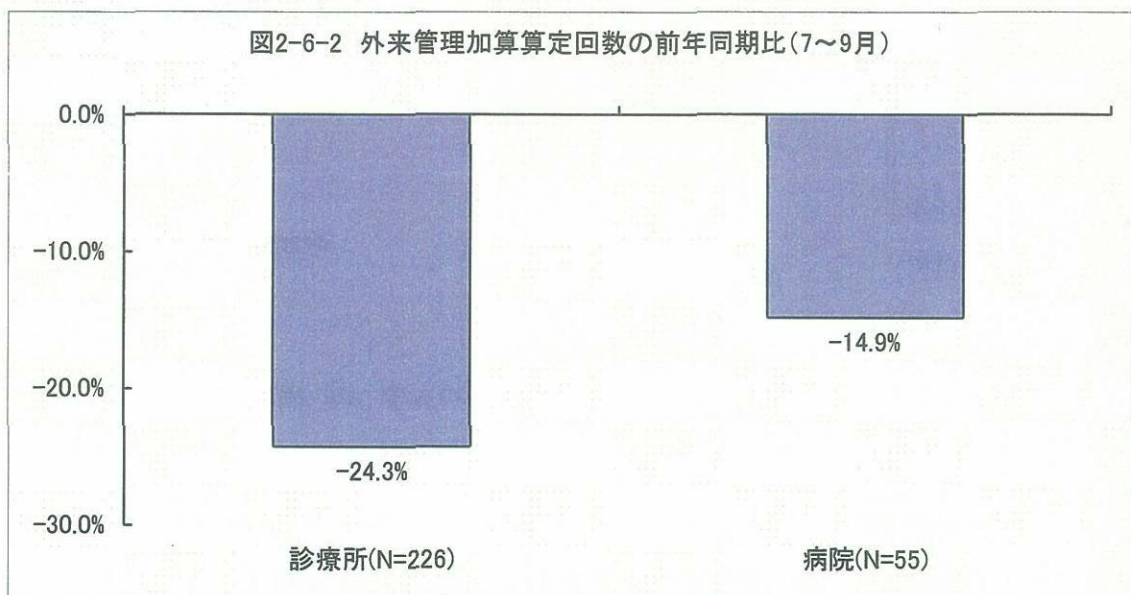


2) 外来管理加算算定回数の前年同期比

問1で「1 平成20年3月以前から算定」を選択し、問14（再診料算定回数）・問15（外来管理加算算定回数）の両方に回答があった医療機関。

診療所の外来管理加算の算定回数の前年同期比（7～9月）は、▲24.3%であった。病院では、外来管理加算算定回数の前年同期比（7～9月）は▲14.9%であった。



3) 医業収入（医療費）への影響額

問1で「1 平成20年3月以前から算定」を選択し、問14（再診料算定回数）・問15（外来管理加算算定回数）の両方に回答があった医療機関。

2007年度の外来管理加算算定額に、2008年の算定回数の増減率（図2-6-2）を乗じ、その上で、後期高齢者の単価の見直しを反映させて、収入への影響額を試算した（表2-6-1）。

その結果、診療所への影響額は▲748億円と推計された。診療報酬改定時には影響額は▲240億円と見込まれていたが、今回の試算ではそれを508億円超過していた。